

令和5年度 事業計画

1 基本方針

新型コロナウイルス感染症に関しては、世界的な流行となってから約3年が経過し、5月には、第2類からインフルエンザ並みの第5類相当に引き下げることにも決定しており、終息に向け人流も戻りつつあるものと期待しております。

一方、本年10月から導入開始が予定されている「インボイス制度」に関しては、決定的な救済策が示されない中で、仕入税額の80%控除といった緩やかな入口とはいえ、大きな逆風の中でスタートラインに立たされているような不安感は払拭できません。

また、国は業務全般に係るシステム改修等による事務量の軽減策をもって支援するといった側面から「デジタル化の推進」に予算を付け始めており、今後はデジタル化への対応が加速度的に求められることが予測されています。

さらには、全国的にも急速な物価上昇に賃上げが追い付かず、経済状況の閉塞感が増長し、事業運営面においても、景気の動向に十分に注視していかなければなりません。

こうした中、シルバー人材センターは高齢者の多様なニーズに対応した就業機会を提供するとともに、生きがいや健康増進を通して地域社会における役割を果たしていくためにも、地域に必要な団体として、これからもお客様の信頼に応え、満足度を高めていただけるように努めます。

当センターとしては、今年度も中長期計画に基づき、その柱である会員数の拡大、適正就業の推進と就業機会の確保、安全就業の徹底、組織体制の強化、財政基盤の強化、会員の研修と会員相互の交流の推進、広報、ボランティアの推進をさらに進めてまいります。

会員数の拡大については、令和2年度のコロナによる落ち込みが、一昨年度やや回復したもののコロナ前には戻っておらず、今年度も、巻き返しを図るべく工夫をこらしながら、引き続き特に力を入れてまいります。

これからも、地域に根ざしたセンターとしての発展を目指し、この事業計画に基づき、目標達成に向けてシルバー人材センターの会員、役職員がそれぞれの役割を果たしながら、心をひとつにして取り組んでまいります。

2 事業実施計画

(1) 会員数の拡大

- ① 苫小牧市の「広報とまこまい」などを活用した広報活動や、会員募集ポスターの公共施設への掲示、インターネット広告など、市民へ積極的に情報を提供し、新規会員獲得のPRに努めます。
- ② シルバー事業のPRや会員拡大につながるよう、シルバーの活動や入会手続きなどについて適宜必要な情報をホームページ上などで提供してまいります。
- ③ 確定申告期間中の労働福祉センターにおいて、役員・会員によるパンフレットの配布を

連日行うとともに、ハローワークや年金事務所などの公共施設にパンフレットを置き入会促進と受注拡大に努めます。

- ④ 人手不足分野などの就業会員確保や、未就業会員の対策として、一般市民や未就業会員を対象とした、農作業、清掃、除草などの体験・実習型研修を行います。
- ⑤ 企業の退職者（予定者）層への入会の働きかけを行うため、シニアライフセミナーを伴う入会説明会を開催いたします。
- ⑥ 入会后1年未満の会員の退会を防止するため、講習会受講やサークル入会を奨励し、就業相談を実施するなど、会員数を確保するよう努めます。
- ⑦ 高齢会員の体力に合わせ、就業時間が短く、グループで出来る就業先を確保し退会抑制に努めます。

(2) 適正就業の推進と就業機会の確保

ア 適正就業の推進

- ① 国の適正就業ガイドラインを活用し、法令遵守に努めます。
- ② 就業機会の均等化を図るため、長期就業などを是正するとともに、未就業会員に対しては、定期的に状況確認をしながら、簡易な業務の情報を提供するなどして就業率の向上を目指します。

イ 受注の確保と独自事業の推進

- ① 苫小牧市に対してはシルバー事業の理念、概要を説明し、高齢者に適した就業機会の拡大とともに、事業全般に対する支援を引き続き要請します。
- ② 就業開拓員を配置し、受注の拡大を図ります。
- ③ 高齢者派遣事業については、道シ連と連携するとともに、就業機会の拡大につながるよう、取引先との連絡を密にし、業務拡大に向けて取り組みます。
- ④ 職業紹介については推進してまいります。
- ⑤ 腐葉土、花づくりの独自事業について事業展開してまいります。また、錦岡地区の用地（樽前平成ファーム）を有意義に活用して事業の充実を図るとともに、引き続き新たな独自事業について研究してまいります。

ウ 指定管理事業の充実

- ① 指定管理者となっている高齢者福祉センター、労働福祉センター、錦大沼公園、拓勇・日の出公園については、苫小牧市との協定を遵守して適正な管理運営を行うとともに、利用者サービスの向上に努めます。
- ② 錦大沼のワカサギ釣りを充実するため、資源確保の方法（稚魚または受精卵の放流等）を調査・研究します。また、高齢者福祉センター健康促進事業など、各施設において創意をこらした自主事業を実施し、利用者の増加と満足度の向上に努めます。
- ③ 今年度で定められた受託期間を終える錦大沼公園及び拓勇・日の出公園については、これまでの実績を生かし、利用者サービスを第一とした提案をすることで次期の受託ができるよう努めます。

(3) 安全就業の徹底

- ① 安全・適正就業部会が主体となって、安全対策の周知徹底を図り、会員が安全に就業で

きるよう「安全大会」を開催し安全就業の啓発強化に努めます。

- ② 安全・適正就業部会は、就業現場の安全パトロールをはじめ「安全ニュース」の発行や「安全標語」の募集を行い、会員の安全意識の高揚を図るとともに、安全作業の定着に努めます。
- ③ 会員が良好な体調を維持することが事故防止にもつながることから、定期的に市民検診、個人検診を受けることを奨励するとともに「健康教室」を開催します。
- ④ 就業災害時に第三者が救命対応できるよう健康状態を記録した健康・安全カードを携帯することを推進します。
- ⑤ 特定業務（剪定、機械除草など）における安全就業実施度自己チェックを実施します。また、従事会員に対し健康診断の受診を義務付けし、就業中の事故減少に努めます。
- ⑥ 高齢者の自動車運転による交通事故が社会的関心を集めていることから、自動車運転業務に従事する会員を対象として適性診断を実施します。
- ⑦ 万が一事故が発生した場合は、原因を究明し、就業会員を対象に事例を基にした危険予知訓練を行うなど、安全意識を高め事故防止に努めます。
- ⑧ シルバー派遣に従事する会員の安全・衛生を確保するため、衛生委員会を開催します。

(4) 組織体制の強化

- ① 事業の執行機関である理事会をはじめ、部会（安全・適正就業部会、行事实行部会、広報部会、女性部会）を開催し、事業の適正な執行と活性化を図ります。また、行事实行部会が企画するシルバーまつりなどには、多くの会員に参加していただくことで事業の充実を図ります。
- ② シルバー事業の活性化を図るため、役職員の研修を行います。
- ③ 地区会議、地区長会議を開催し、事業に関する情報提供や意見交換、運営に対する要望や提案を話し合い、会員の自主的活動と交流を促進し参画意識や主体性の高揚に努めます。
- ④ ポイント制度を推進し会員数の拡大とともに受注の確保、組織体制の強化を図ります。
- ⑤ 女性部会が実施する講習会、普及啓蒙・地域貢献活動を積極的に支援してまいります。
- ⑥ 事務局が入居している労働福祉センターは市の公共施設の統廃合の対象となっていることから、活動拠点としての事務局の確保について、引き続き市と協議してまいります。
- ⑦ 苫小牧市、公共職業安定所、道シ連、道内の各センターなど関係機関や諸団体と十分に連携し、事業の円滑な推進に努めます。
- ⑧ デジタル推進員を配置し、業務の効率化や会員向けにデジタル相談窓口を設置し、苦手意識の解消に努めます。（会員向けにオンライン化の支援などを行います。）

(5) 財政基盤の強化

- ① 国の補助制度の動向を注視し、補助金の確保に努めます。
- ② 長期的な視点に立って、事業に必要な事務機器などの資産や備品の更新・充実など必要な整備を進めるとともに、効率化を図り経費の削減に努めます。
- ③ 会員の就業に見合った適正な収入と安定した事務費収入の確保を図るため、配分金の改定については、毎年改定される最低賃金などの動向を的確に把握し適宜実施していきます。また、適格請求書等保存方式（インボイス制度）にも対応してまいります。

(6) 会員の研修と会員相互の交流の推進

- ① 会員の知識、技能、技術の向上を図り、就業職種と就業分野の拡大のため、センター主催の講習会を実施します。
- ② 入会后3年を経過した会員を対象に、シルバー事業に対する認識を深めていただくため、「3年度経過後教育」を引き続き実施します。
- ③ 円滑な事業運営に資するため、会員の現状と意向を把握する「会員継続調査」を実施します。
- ④ 「休憩室の開放」は月1回開催し、就業上の意見や相談を受けるための「会員の相談日」についても理事が担当し、利用を促進するよう努めます。
- ⑤ 会報「とまこまいシルバーだより」を年2回、会員などに配布し、事業の周知や情報伝達に努めます。
- ⑥ 会員が自主的に運営する会員の親睦交流を図る行事や、趣味・教養等のサークル活動を引き続き支援してまいります。

(7) 広報、ボランティアの推進

- ① 市の広報紙などに広告を掲載するとともに、事業実施の際は報道記事を活用して事業の宣伝・周知に努めます。
- ② 会員の技能発表の場を兼ねた「シルバーまつり」を開催するなど、地域との結びつきを強め、シルバー事業の普及啓発に努めます。
- ③ 地域貢献活動について公益社団法人として苫小牧市等地域施策と連携し協力してまいります。

3 事業の目標

令和5年度の目標は、前述の基本方針と実施計画に基づき次のとおりとします。

区 分	令和4年度実績	令和5年度目標
1 会 員 数	697人	697人 (会員拡大計画の目標会員数)
2 受注額・就業延人員		
(1) 請 負		
① 受注金額	227,170 千円	235,179 千円
② 就業延人員	51,567 人日	53,200 人日
(2) 派遣 (参考)		
① 受注金額	46,506 千円	44,821 千円
② 就業延人員	6,598 人日	6,800 人日
(3) 請負・派遣合計 (参考)		
① 受注金額	273,676 千円	280,000 千円
② 就業延人員	58,165 人日	60,000 人日
3 就 業 率		
(1) 請 負	78.2%	85.0%
(2) 請負・派遣合計 (参考)	84.2%	90.0%

※ 派遣事業は公益社団法人北海道シルバー人材センター連合会の事業です。